

アクティブ・スーパーウーファー

**AV 5150**

アクティブ・スーパー・ウーファー・システム

## LINN AV 5150

Linn AV 5150 は、正確な音程を伴った低音～最低音域の再生を行う、パワーアンプ内蔵型スーパー・ウーファー・システム。単にサラウンド再生における低域成分の再生のみならず、通常のステレオ再生においても、超低域の再現性の向上はトータルサウンドの質的向上と、さらに大きな感動をもたらします。音楽やシアターサウンドにおける、雰囲気損なわず誇張感のない正確な低音～最低音域再生により、新たな再生領域を体験することが可能となるでしょう。

- **AV 5150** は、305mmウーファーを2基アイソバリック方式にて連結使用。垂直方向に対面状態でマウントされたユニットを、内蔵200Wパワーアンプにて駆動。
- アクティブ・ネットワークと先進の保護回路により、長期にわたって安定した動作を実現。入力信号のセンサーによるパワーセーブ・モードも可能。
- DIPスイッチによるハイカット周波数の設定、ダンピング・ファクター調整、正逆位相の選択、音量調整モード時の可変VRによるゲイン・コントロール、により、様々なスピーカー・システムとの実際の組み合わせに際しても、スムーズかつ効果的なセット・アップが可能。
- L、Rチャンネル・ステレオ入力による3D再生に対応する入力端子の他に、**AV 5150** の複数使用を可能にするフィルター・アウト/パワー・イン端子も備え様々な使用状況に適應。商業的な使用としては、**AV 5150** のスタッキングによる複数使用や、再生音域の無指向性を考慮したウォール・マウント等 **AV 5150** の横置き状態での使用にも

対応。

- ブーミーでこもった聴感、あるいは特定の周波数でのピークとは無縁の、低歪で明確な音階の再現ができる、高品位な超低音再生により、音楽再生、シネマサウンドのいずれの領域においても、新たな次元がひらかれるでしょう。
- キャビネットは18mmMDFにより高い剛性を実現。仕上げは、高級天然ツキ板によるブラック仕上げの他に、ご使用されるお部屋にあわせてアメリカンチェリー仕上げも御選択いただけます。内蔵パワーアンプのヒートシンク部の印象的な仕上げによりAV51シリーズとしてのデザイン上の統一もなされています。
- セッティングの容易さと、安定した設置による高品位再生のために、キャスター及びスパイクが付属しています。

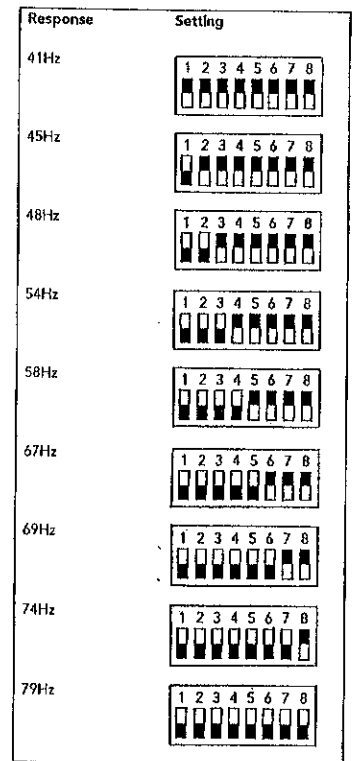
**[使用ユニット及び特徴]**

**ドライブ・ユニット** : 305mm高剛性ポリプロピレン製コーン型×2基をアイソバリック方式にてドライブ。“アイソバリック”はユニットのドライブに関してLinnがパテントを取得していた方式で、空氣的に連結された2つのユニットを平行に駆動することにより、低音域再生において周波数特性のみならず歪率についても著しい改善が得られます。

**保護回路** : 過負荷、過温度上昇、ショート状態、オーバー・ドライブに関する万全の保護回路を搭載。

**ネットワーク** : エレクトロニック・クロスオーバー内蔵。DIPスイッチによりロールオフ周波数を9段階に設定。

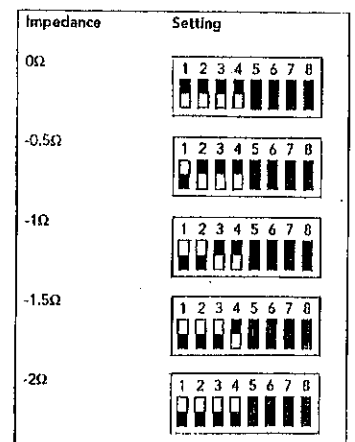
【右図参照】



**出カインピーダンス調整:**

DIPスイッチにより出カインピーダンスを5段階に設定。出カインピーダンスを減じるとより強力なパス・ダンピングが実現。

【右図参照】



[仕様]

形式	: アクティヴ・アイソバリック方式 バスレフ型
使用ユニット	: 305mmポリプロピレン・コーン型×2
再生周波数	: 15Hz~100Hz (±3dB)
幅	: 483mm
奥行	: 483mm
高さ	: 640mm
内蔵アンプ出力	: 200W/4Ω
入カインピーダンス	: 5kΩ
重量	: 46kg

## 【AV 5150 スーパーウーファー セッティング方法】

### AV 5150 セッティングにあたっての御注意

AV 5150 スーパーウーファーには、240W/4Ω出力のモノラルパワーアンプが搭載されています。このアンプはアースループによる音質の劣化をなくすため、オーディオ回路とシャーシを分離したフローティングタイプとなっており、プリ/パワーアンプのAC電源がアース付き3Pコンセントから取られていることを前提に設計されています。従ってリアンプのAC電源が2Pコンセントから取られている機種との組み合わせには、AV 5150 の電源コードのアース線をリアンプのアース端子と接続し、シャーシ電位を等しくして下さい。

セッティングは AV 5150 の微調整スイッチによる、クロスオーバー周波数、ダンピングファクター、ソフトクリップ、位相、再生音量の切替えと、スーパーウーファー本体のポジショニングにより行います。

なお、微調整スイッチ各部の機能説明は次ページをご参照下さい。

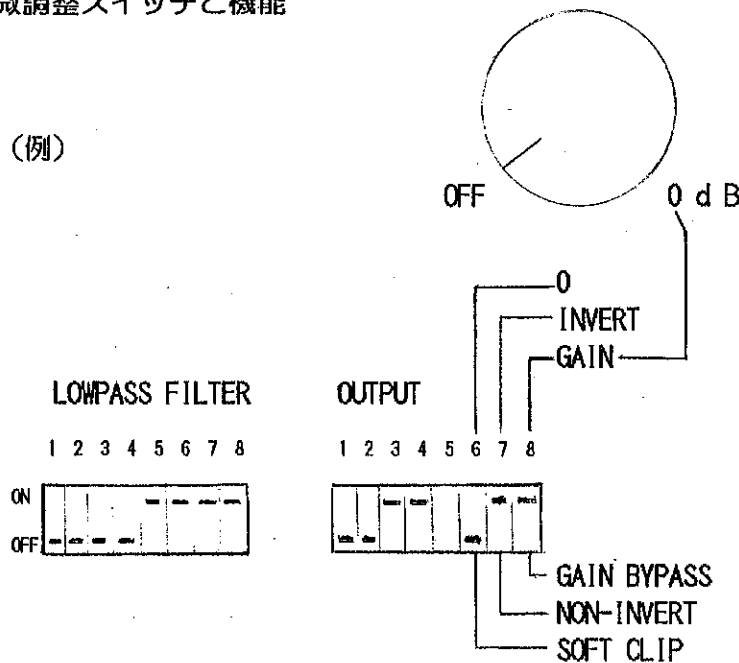
ご不明の点は、フリーダイヤル（0120-126173）にてお問い合わせ下さい。

### セッティング手順

1. メインシステムの絶対位相を確認する。
2. メインシステムの低音再生能力、リスニングルームのサイズに応じてクロスオーバー周波数、ダンピングファクターをプリセットする。（目安による調整）
3. 音楽を再生しながら、AV 5150 の音量VRを大きく動かして、スーパーウーファーが効き始めるVR位置を探す。また、スーパーウーファーの位相についても確認する。（オーバーレベルにならないVR位置の見当をつける）
4. VR位置を記憶し、メインシステムの再生を止めて、スーパーウーファー単独で再生し最適位置、及び最適ダンピングファクタを決定する。（AV 5150 の音量VRを上げ、クロスオーバー周波数を最高ポジションに設定すると判別が容易）
5. VR位置を元に戻し、メインチャンネルと共に再生して、音量、クロスオーバー周波数を微調整する。
6. 位相、ダンピングファクタに関しても再確認する。
7. 5及び6のプロセスを、色々なタイプの音楽ソフトを用いてくり返し試聴し、セッティングを終了する。

## AV 5150 微調整スイッチと機能

(例)



### 機能説明

**LOWPASS FILTER** : クロスオーバー周波数切替え (左 1~8)

上記例は58 Hz (次ページ参照)

**OUTPUT** : ダンピングファクター (出力インピーダンス) 切替え (右 1~4)

リスニングルームの大きさ (空気容量) に応じて調整、ルームサイズが大きくなるに従い出力インピーダンスを減じて下さい。設定の目安としては、0Ωで6畳、-2Ωで30~50畳以上に対応します。

上記例は-1 dB (次ページ参照)

**SOFT CLIP** : ソフトクリップ切替え (右 6)

極度の大量再生時のドライブユニット保護回路のオン/オフスイッチ。セッティングはオン状態にて行って下さい。

上記例はオン状態

**INVERT** : 位相切替え (右 7)

正逆位相反転スイッチ。

上記例は逆相 (-180°) 状態

**GAIN** : 音量調整切替え (右 8)

GAIN オン時に可変 VR にて音量の調整ができます。スイッチ操作時には VR 位置、入力等充分ご注意下さい。

上記例は可変 VR 調整状態

クロスオーバー周波数

Response	Setting
41Hz	
45Hz	
48Hz	
54Hz	
58Hz	
67Hz	
69Hz	
74Hz	
79Hz	

ダンピングファクター(出カインピーダンス)

Impedance	Setting
0Ω	
-0.5Ω	
-1Ω	
-1.5Ω	
-2Ω	

小  
↑

リスニングルームの空気容量

↓  
大